

大学院学生向け
学位プログラム及び経済的支援制度
まとめ

共通

- ・ 国際共同大学院プログラム
- ・ グローバル萩奨学金
- ・ その他：民間財団奨学金，日本学生支援機構奨学金（貸与），長期履修制度（社会人学生）
- ・ 関連URL

前期 2 年の課程向け

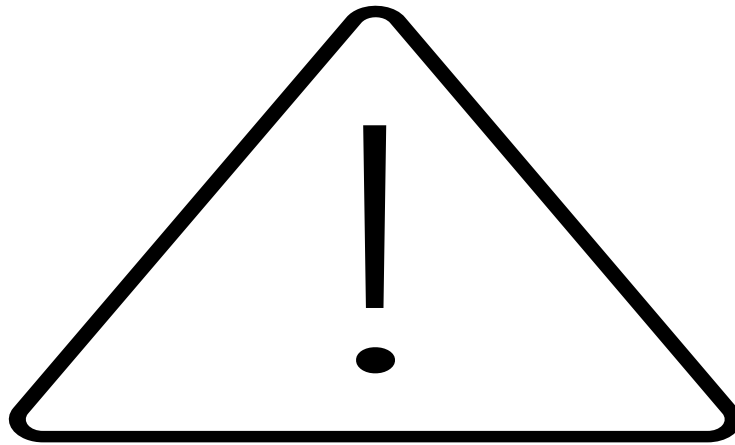
- ・ 学際高等研究教育院 修士研究教育院生

後期 3 年の課程向け

- ・ 挑戦的研究支援プロジェクト/博士学生フェロークシッブ
- ・ 学際高等研究教育院 博士研究教育院生
- ・ ドクターサポート制度（TA/RA）

注意！

情報は令和4年度（2022年度）に基づいたものなので、
来年度以降変更となる可能性があります。学務情報システム
等でのお知らせを見逃さないようにしてください。



共通①

◎国際共同大学院プログラム

国際共同大学院プログラムは、本学の強みを生かし世界を牽引できる分野や、今後重要になり人類の発展に貢献できる分野を選択し、部局の枠を超えて本学の英知を結集し、海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践することにより、グローバル人材を育成します。

・農学研究科は2つのプログラムに参画

①災害科学・安全学 国際共同大学院プログラム

災害・環境破壊から市場や経済危機の問題解決分野までのレジリエンス学

②統合化学 国際共同大学院プログラム

物理・生命・情報と融合した新しい化学の展開力を身につけ、直面する世界的課題を解決できる人材を育成

- ・ 支援内容：研究奨励費（生活費支援）、研究費の支給またはRAとしての雇用、海外渡航費の補助等
- ・ 申請スケジュールは各プログラムで異なるのでウェブサイトのを要参照。前期課程⇒後期課程の一貫教育となっているので、前期課程からプログラム生として採用される。

関連URL：

（災害科学・安全学 ウェブサイト） <http://gp-rss.tohoku.ac.jp/>

（統合化学 ウェブサイト） <https://gp-chem.tohoku.ac.jp/>

共通②

◎グローバル萩奨学金

本奨学金は、意欲と能力にあふれる優秀な学生が、本学の博士課程に進学し学術研究に専念できる環境を提供するとともに、日本の科学技術の発展に資する「創造と変革を先導する人材」の育成を目的として平成30年度から実施してきました。令和4年度より対象を修士課程学生にも拡げ支援を行います。

- ・ 支援内容：年額60万円（授業料相当）。M2, D1, D2, D3の4年間支援。 ※D1で採用の場合は3年間支援
- ・ 申請資格：M2またはD1の学生
- ・ 前期及び後期に募集を行う。 ※後期は行わないこともある。
- ・ スケジュール ※ () 内は後期募集
 - 6月上旬（10月上旬） 募集のお知らせ（学務情報システム）
 - 6月中旬（10月下旬） 募集締切
 - 6月下旬（11月上旬） 研究科内選考
 - 7月上旬（11月上旬） 研究科内選考結果通知
 - 7月～8月（12月頃） 大学内選考結果通知

共通③

◎民間財団等奨学金 ※応募資格等要確認

日本人学生向け→学務情報システムにて周知

外国人留学生向け→農学研究科ウェブサイトにて周知

<https://www.agri.tohoku.ac.jp/en/students/scholarships/>

◎日本学生支援機構 貸与奨学金 ※原則日本人学生のみ

(学内サイト) <https://www2.he.tohoku.ac.jp/shogaku/gaiyo.html>

※貸与期間中、優秀な業績を挙げた場合には返還免除制度もあります。

◎長期履修制度（主に社会人の方向け） ※誰でも申請できるわけではありません。

主に企業等で常勤の職員等をしている方や、出産・育児、介護等をしている方を対象に、標準修業年限を延長する制度です。希望する場合は、入学時に申請する必要があります。

例：後期課程は標準修業年限が3年間ですが、長期履修制度を利用して6年間に延長すると、3年間分の授業料（年額535,800円×3年間＝1,607,400円）で6年間在学することができます。長期履修制度を利用せずに6年間在学すると、6年間分の授業料（年額535,800円×6年間＝3,214,800円）がかかります。

共通④

関連URL

- 入学料免除・授業料免除等

<https://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/>

★2023年度から、社会人大学院生（後期課程）の方を対象とした授業料免除制度を開始する予定です。

- 東北大学 高等大学院機構

<https://pgd.tohoku.ac.jp/>

東北大学高等大学院機構は、2015年に開設された「東北大学学位プログラム推進機構」から名称を改め、研究科に象徴される狭い学問領域の壁を越え、国境の壁を超えた先進的な大学院教育プログラム、大学院学生に対する共通教育を実施するとともに、大学院学生のキャリア形成支援をはじめとする学修・研究専念環境を整備することで、これまでの大学教育・研究の在り方を変革し、東北大学の先進性、進取性を世界にアピールします。（※ウェブサイトから）

- 博士人材育成ユニット（PHDC: PhD Career Development Unit）

<https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/>

「研究力+ α 」の「 α = Transferable skills」を鍛える。博士号を取得してからの進路を一緒に考える。希望の進路を手にするためのプロセスを支援する。分野を越えた交流の場を提供する。（※ウェブサイトから）

前期2年の課程①

◎学際高等研究教育院 修士研究教育院生

学際高等研究教育院は、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に活躍でき次世代のアカデミアを担う若手研究者の養成を推進します。

- ・ M1で「指定授業科目」を6単位以上取得していることが申請要件

※ 10月入学者は申請資格無し。

- ・ 支援内容：奨学金年額60万円（授業料相当）、研究科の壁を越えた研究活動を推進する際の橋渡しの支援

- ・ 農学研究科からの推薦可能枠：例年5名以内程度 ※年度によって変わる

- ・ スケジュール

3月初旬～中旬 (M1) 募集のお知らせ (学務情報システム)

4月中旬頃 (M2) 申請締切

5月の連休明け頃 研究科内選考結果通知

6月下旬頃 学際高等研究教育院での選考結果通知

関連URL (学際高等研究教育院ウェブサイト) <http://www.iiare.tohoku.ac.jp/>

後期3年の課程①

◎挑戦的研究支援プロジェクト/博士学生フェローシップ

2021年度より新たに開始した博士後期課程向けの経済支援事業。博士後期課程進学への経済的な不安、博士学位取得後のキャリアパスへの不安を回収し、学修・研究環境の向上を図っていきます。

【挑戦的研究支援プロジェクト】（JSTが原資）

・研究奨励費（生活費相当額支援金）月額18万円 + 研究費 年額34万円

【博士学生フェローシップ】（文部科学省が原資）

・研究専念支援金（生活費相当額支援金）月額18万円 + 研究費 年額34万円

※どちらも重複受給の制限や採用者の義務事項があるので、ホームページや募集要項で確認してください。

- ・募集は年2回（4月採用・10月採用（優先枠・一般枠））。
- ・スケジュール ※（）内は10月採用・一般枠 ※優先枠は対象者少数のため省略
- 3月上旬（9月中旬） 募集のお知らせ
- 3月下旬（9月下旬） 申請締切
- 4月上旬（10月上旬） 研究科内選考
- 4月中旬（10月中旬） 研究科内選考結果通知
- 4月下旬（10月下旬） 学内選考結果通知

●東北大学 高等大学院機構 ホームページ

<https://pgd.tohoku.ac.jp/rpc/>

後期3年の課程②

◎学際高等研究教育院 博士研究教育院生

学際高等研究教育院は、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に活躍でき次世代のアカデミアを担う若手研究者の養成を推進します。

- ・申請資格：「修士研究教育院生」であった者。または、「修士研究教育院生」以外で特に優秀な者
※10月入学者も申請申請可。
- ・支援内容：研究奨励費月額20万円（日本学術振興会特別研究員奨励費相当）、研究科の壁を超えた研究活動を推進する際の橋渡しの支援、研究費年額50万円
- ・農学研究科からの推薦可能枠：例年5名以内程度 ※年度によって変わる
- ・スケジュール
 - 2月初旬頃（M2の時に募集） 募集のお知らせ（学務情報システム）
 - 2月下旬頃（M2） 申請締切
 - 3月上旬 研究科内選考結果通知
 - 4月中旬頃（D1になってから） 学際高等研究教育院での選考結果通知

関連URL（学際高等研究教育院ウェブサイト） <http://www.iiare.tohoku.ac.jp/>

後期3年の課程③

◎ドクターサポート制度

博士課程後期3年の課程学生を対象とした、農学研究科独自の経済的支援制度。

- ・学生をTA/RAとして雇用し、年間授業料額（535,800円）を上限として支援。
- ・申請は年2回受付。半年ごとの雇用。半期当たりの支援上限は267,900円。
- ・申請人数や申請者の経済的状況に応じて支援区分（申請者ごとの支援上限）を決定する。
- ・標準修業年限を超過する後期課程在籍者については、原則、支援対象とはしない。なお、出産、育児、介護等の特別な事情により、標準修業年限を超過した場合は、支援対象に含めることがある。

【募集時期】 ※学務情報システム及び教員宛周知

前期：4月上旬～4月中旬

後期：9月上旬～9月中旬